

# 島根県立中央病院 (島根県)

## 病床数

687 床

## 病院の特徴

当院は、県下唯一の県立総合病院として、平成11年8月に移転新築しました。県内で数少ない24時間態勢の救命救急センターを設置した救急医療の充実並びに高度特殊医療の充実強化とともに、患者さんの利便性や快適性を確保した療養環境の整備、全国初の電子カルテシステムを核とした戦略的な病院統合システムの構築による高度で効率的な医療の提供など、21世紀の県の基幹的病院に相応しい機能が整備されています。

## 医師数

175名 (2006年12月1日現在)

## 初期研修医定員 1年次

単独型 11名 (2006年実績) / たすきがけ 3名 (2006年実績)

## // 2年次

単独型 12名 (2006年実績) / たすきがけ 2名 (2006年実績)

## 処遇

身分：非常勤 (嘱託医師)

給与：・1年次の支給額 240,000円/月 (諸手当込みで320,000円/月程度)

・2年次の支給額 310,000円/月 (諸手当込みで390,000円/月程度)

夏冬賞与別途支給

保険：政府管掌健康保険 厚生年金保険 労働者災 雇用保険

宿舎：単身用13戸 / 世帯用0戸 住宅手当：0円

## 研修プログラムの特徴

1. 研修必須項目全てを履修出来るように、診療時間で融通が利く体制。
2. 初期臨床研修管理委員会で認められれば、3年目以降も研修の継続が可能。
3. 救命救急センターを併設しており、1次救急から3次救急まで24時間応需体制をとっている。全ての診療科が待機体制を組み、どの診療科の救急にも対応できる体制としている。
4. 離島における診療など地域医療にも貢献できる人材を育てるよう作成。  
指導者がマンツーマンで対応し、指導医とともに経験する診療行為を通じて、「医療人として必要な基本姿勢・態度」について研修するよう配慮している。各診療科において、それぞれの到達目標を明確化し、経験目標が到達できるように研修内容を決定している。診療科の研修に置いて

経験目標に到ってない項目・内容については、研修期間中に優先的に経験できるように対応。

## 指導医から学生さんへのメッセージ

総合診療科部長 中村 嗣氏

島根県立中央病院は第三次救命救急センターを併設する基幹総合病院です。脳血管疾患、心・大血管疾患、重症火傷、手指切断などの専門的な高度救命救急診療だけでなく、小児救急、一次から三次までの救急診療にも対応できる体制を整えています。腎臓移植や骨髄・末梢血幹細胞移植などの移植医療などの、高度・先進医療を積極的に行っています。離島、過疎地を多く抱える島根県の基幹病院として、ヘリ搬送、ドクターズカー、テレビ電話での診療支援などにも取り組んでいます。当院での研修を履修すれば、今後の医療のあるべき「姿」である、「地域のニーズ・患者のニーズ」に立脚した病院を、総合的に経験できます。

現在の当院勤務医師数は、臨床経験が5年未満の医師54名、6年以上が121名、併せて175名の体制です。研修には医師のみならず、多くのコメディカルも積極的に協力しています。良い研修カリキュラムとの自信を持っています。やる気のある皆さんの応募をお待ちしています。

## 研修スケジュール（年間）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科			救急部門		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年次	小児科		産婦人科	精神科	地域保健・医療		選択診療科					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月